

愛に包まれて

星野富弘さんとの出会いは10年以上前になります。友人が主催するチャリティーコンサートでした。使用の許可を頂き、お礼に赤城のご自宅を訪ねました。昼下がり、誘われて二人で近所の小道を散策したのを昨日のこのように思い出します。

星野さんの描く詩画は愛にあふれています。泥水を吸った土から美しい花が咲く。かけがえのない命が精一杯輝いている。それは星野さんご自身が大変な困難を乗り越えていらしたこそ輝きでしょう。そして絶望の淵にあっても、傍らにはいつも奥様の深い愛があり、さらにお二人は信仰という大きな愛で結ばれていました。

昨年秋に再び赤城をお訪ねして昌子さんから富弘さんの思い出を伺った時、まるで一卵性の双子のように朗らかで思いやりに満ちていて真っ直ぐなお人柄に、いっそうその念を強くしたのです。

この度、さがみはらで「花の詩画展」が開催されます。主催の皆様へ感謝するとともに、星野さんの愛の灯が多くの方達の心を優しく照らしてくれることを祈っています。



© 篠山紀信

竹下景子

イベントのお知らせ

● 富弘美術館学芸員によるギャラリートーク (約40分)

6/20 (土)

午前11時～

富弘美術館学芸員が詩画の魅力やエピソードを語りながらガイドします。(予約不要)
講師：相崎ちひろ(富弘美術館学芸員)

【会場】展示室内 【料金】無料(別途詩画展入場料がかかります)

● 朗読グループ「透頂香」による朗読会 (約45分)

6/21(日), 27(土)

午後2時～

エッセイや詩画の朗読とチェロ(大川成子氏)で楽しむ星野富弘の世界(予約不要)

【会場】展示室内 【料金】無料(別途詩画展入場料がかかります)



関連イベント

星野富弘の詩画と、岩渕まことの歌が紡ぐ。ことばが歌になり、やさしさが心に残る。

やさしさコラボレーションシリーズ第4弾CD「きんせんかのうた」発売記念
岩渕まこと&由美子コンサート

6/27 (土) 開演：午後2時30分(開場：午後2時)

【会場】大野キリスト教会(相模原市南区相模大野6丁目9-13 2F)

【出演】岩渕まこと&由美子

【チケット料金(全自由席)】前売3,000円 当日3,500円(詩画展1回入場付き)

主催：星野富弘花の詩画展さがみはらを開く会 協力：ライフ・クリエイション
チケット販売・お問い合わせ Tel.070-5593-7016 (コザギ)



同時展示



樹脂粘土 野の花・野草アート

ミュージアムショップのご案内

絵はがき、書籍、カレンダー、グッズ...etc.



星野 富弘(ほしの とみひろ) プロフィール

1946年 群馬県に生まれる。

1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。

1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。

1981年～雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。

1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。

1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に村立富弘美術館開館。

1994年～ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。

2005年 (新) 富弘美術館開館。

2021年 富弘美術館開館30周年。
富弘美術館の入館者数が700万人を超える。

2024年 逝去。
みどり市名誉市民(第一号)の称号を贈られる。

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。著書多数。



主な著書

「新装版 愛、深き淵より。」「新編 風の旅」「風の詩」「詩画とともに生きる」(Gakken)

「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」「足で歩いた頃のこと」「ただ一つのものを持って」「ひと枝の花に似て」(偕成社)

「山の向こうの美術館」(富弘美術館・偕成社)

「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの掬」

「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」(いのちのことば社)

会場のご案内



相模女子大学グリーンホール (相模原市文化会館) 多目的ホール

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野4-4-1

〈電車でご来場の方〉

小田急「相模大野駅」北口より徒歩4分
(北口よりコリドー通りを直進)

〈お車でのご来場の方〉

ホールご来場者用の駐車場はございませんので、
近隣の駐車場をご利用ください。